

目次 ▶教育委員コラム …… P1  
 ▶SHINAGAWA ICT SYMPOSIUM の開催 …… P2  
 ▶区立学校におけるタブレットの活用状況 …… P2  
 ▶難聴通級指導学級の移設 …… P3  
 ▶学校支援チーム「HEARTS」の活動 …… P3  
 ▶ティーンズ書評バトル2022を開催しました …… P4



- ▶品川図書館の案内サインが新しくなります …… P4
- ▶「まもるっち」を貸与しています …… P4
- ▶83運動にご協力ください …… P4
- ▶学校改築を推進しています …… P5
- ▶児童・生徒教育長表彰の実施 …… P6
- ▶教育長杯 各スポーツ大会の結果 …… P6



## 教育委員 コラム

# 子どもの品格

品川区教育委員会 教育委員 吉村 潔



以前、新聞に次のような投書がありました。

小学3年生の孫娘が給食当番の時、クラス全員の分のサラダ用のドレッシングを過ってこぼしてしまいました。

何もかけないサラダを食べ始めた級友の間から「おいしくない」「全然味がしない」などと不満の声ががり始め、孫娘もどうしたらよいのかわからず、泣きたくなかったそうです。

その時、ひとりの男の子が「僕も給食当番の時に間違えてタレをこぼしちゃって、何もつけないで食べたことがあるよ」と言ってくれたそうです。すると、あちこちであがっていた不満の声は止まりました。…(略) ……

この投書を読んだときに、思い浮かんだのが『子どもの品格』(高橋義雄著)という本でした。著者は、この本の中で「本来、子どもに品格という言葉を使うのは正しくない

いが、子どもであってもその年齢なりの常識やふるまいが求められる。そういったものが身に付いている子どもは『品格』や『気品』を感じさせる」と書いています。

小学校の教員時代、確かにそうした子どもたちをたくさん見てきました。言われたことだけでなく、いつも自分の考えを入れた取り組みをする子がいました。からかわれている友達をさりげなくその場から連れ出す子がいました。元気のなくなったザリガニを休み時間中じつと見つめている子もいました。集合時間に遅れ友達を待たせたときに「待っていてくれてありがとう」と言える子がいました。

子どもだからこそ、あるいは子どもであっても身に付けさせたいところがあります。

それでは、こうした子どもなりの品格や相手を思いやる気持ちをどのように育てたらよいのでしょうか。このことについても、私は

ある本から学びました。そこには次のような言葉がありました。

● 思いやりの気持ちは放っておいても育たない。

● 誰かが誰かを思いやっている姿を、子どもが日ごろから身近にたくさんみる必要がある。

● 子どもは、親のいうことをなかなか聞かない。けれども、親のしていることは学ぶし、よくまねをする。

● できるだけ□でやる教育はさけて、心とかしぐさとか物腰、行動で教育することができれば、それはすばらしい。

(佐々木正美著『子どもへのまなざし』エリ)

子育てや学校教育では、子どもの周りにいる大人の存在が少なからず影響を与えます。人との比較ではなく、その子らしさを認める大人や友達の存在があれば、「品格」のある子は増えるのかなと思っています。

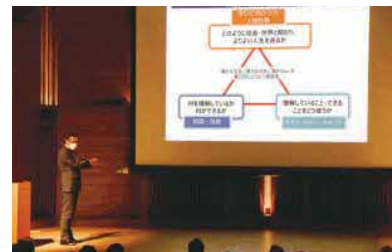
SHINAGAWA ICT SYMPOSIUMの開催

令和4年11月30日に、五反田文化センター音楽ホールにて開催された「SHINAGAWA ICT SYMPOSIUM」では、これまでの区におけるICTの活用について、3校の重点校による実践事例報告や基調講演、パネルディスカッションを行いました。

実践事例報告では、大井第一小学校、荏原第一中学校、八潮学園の先生から、各学校においてこれまで取り組んできた実践事例や、その成果と課題について発表がありました。各学校における活用の様子から、ICTを効果的に活用することにより、子どもの思考力や表現力等を育成するなど、日々の授業改善につなげている様子がわかりました。

パネルディスカッションでは、コーディネーターに、情報通信総合研究所の平井聡一郎氏をお招きし、講演した聖心女子大学の益川弘如教授、活用重点校の先生、保護者代表等をパネリストとして、

「ICTを活用した、品川の子どものたちの新しい学びについて」というテーマで、これまでの取組や



▲実践事例報告(大井第一小学校)

これからの方向性について話し合いました。当初は使ってみることに目標だったところから、現在は、区立学校教育要領で目指す資力・能力の育成や主体的・対話的で深い学びのある授業改善につなげていく活用へと変容してきています。今後は、さらに活用の質が求められるべく方向性について共有することができました。

これからも、未来を切り拓く子どもたちの育成に向け、重点校の取組をはじめとした各学校の実践について共有し、さらなるICT活用の推進を図っていきます。

区立学校におけるタブレットの活用状況

各学校では、タブレット端末が導入されてから現在までに、様々な場面での利用を図っています。

授業では、1年生から9年生まで学年・教科を問わず使用されています。低学年では撮った写真や映像に感想を書き込んだり吹き込んだりすることから始まり、学年が上がるにしたがって、クラウド型授業支援アプリを使って、提出された友達への回答を見たり、それをもとに話し合ったりする活動が行われるなど、それぞれの学年に応じた活用を推進しています。



▲授業での様子(英語・品川オンラインレッスンの様子)



▲校外学習での様子(エコルとごしにて)

撮影した動作を見直して技術の向上に生かすといった部活動や、委員会活動・児童生徒会活動における意見の集約や発表等に用いられています。

また、児童・生徒にとごまらず、教職員では、会議での資料配布、研究授業における協議、オンラインでの研修等に利用され、働き方改革の視点やペーパーレスといった環境への配慮など、その活用の幅を広げています。

今や教育現場では、タブレット端末は必要不可欠なツールになってきているといえます。



▲教員研修の様子(ICT推進担当教員研修)

### 難聴通級指導学級の移設

区では台場小学校（1～6年生）と豊葉の杜学園（7～9年生）に難聴通級指導学級（きこえの教室）を設置しています。

難聴通級指導学級とは、難聴により、主に補聴器や人工内耳を使っている児童・生徒が、自分のきこえの状態を理解し、聞き取りの力を伸ばし、心の安定や学習意欲を高めることを目標に授業を行っている通級制の学級です。

難聴通級指導学級においても、義務教育9年間の一貫した質の高い教育を推進するため、令和6年



▲難聴通級指導学級で使用しているオーディオメーター（聴力検査機器）

度に豊葉の杜学園（1～6年生）

に難聴通級指導学級を開設します。

それに伴い、台場小学校の難聴通級指導学級は令和7年度末まで移行期間として存続し、令和8年度に閉級する予定です。

移行にあたっては、対象の児童ならびに保護者に丁寧に説明し、関係学校とよく連絡を取り合って進めていきます。

今後とも児童・生徒に寄り添い、発達や障害の状態に応じ、専門性の高い指導を行っていきます。



▲難聴通級指導学級の教室（台場小学校）

### 学校支援チーム

#### 「HEARTS」の活動

学校支援チーム「HEARTS」（以下、ハーツ）は、区立学校在籍の子どもの支援のための専門家チームです。不登校やいじめ、暴力行為、非行、家庭環境などにより、子どもが学習に向かえない状況になった時に、学校、家庭と共に解決に向けて一緒に考え、サポートしていきます。

チームは、スクールソーシャルワーカー、心理相談員、元警察官、教育アドバイザー、指導主事の多職種で構成され、教育総合支援センターを拠点として活動しています。

ハーツは、児童・生徒、保護者、学校からの支援要請を受けた後、学校や家庭への訪問や相談者の来所により面談を行っています。

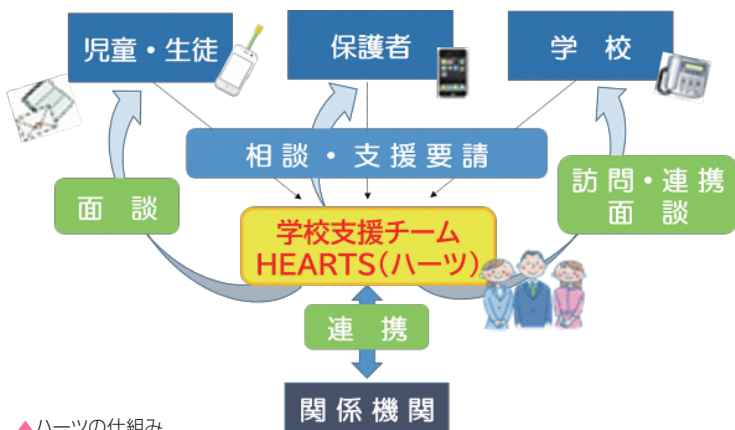
児童・生徒との面談では、遊びを通して関係づくりを行い、本人の気持ちを聴くなどカウンセリングを行うこともあります。また、相談者のサポートリソースを探し、他の支援機関をつなげるなど、関係機関と連携しながら支援を行っ

ています。

ハーツへの相談は、①相談専用電話②各区立学校に設置された目安箱③タブレット端末の「アイシグナル」(7～9年生対象)④まもるっちのハーツ相談電話(1～6年生対象)で受け付けています。



▲タブレット端末のトップ画面にあるアイシグナルアイコン



▲ハーツの仕組み

**ティーンズ書評バトル  
2022を開催しました**

区立図書館では、読書時間が少ないといわれるティーンズ世代(10代)に向けた読書推進の一環として、押し本イベントを開催しています。

令和4年7〜11月に開催したPOPコンテストでは、イラストとキャッチコピーによる力作283点の応募があり、一次審査を通過した69点から、来館者の投票により最優秀作品が選ばれました。

令和4年11月26日に開催したビデオバトルでは、5人の発表者が「押し本」について決められた時間でプレゼンを行い、観客は一番読んでみたいと思った本へ投票し、最多票を集めた『いなくなれ、群青』（河野裕著）がチャンプ本になりました。

ティーンズ書評バトルは毎年開催予定です。皆さんの参加をお待ちしています。



**品川図書館の案内サインが  
新しくなります**

品川図書館では、誰もが安心して利用できる図書館を目指し、館内の案内サインの見直しを行っています。図書館利用者のご意見を参考に、ユニバーサルデザインに基づいたシンプルでわかりやすい案内を設置していきます。

見直しにあたっては、どこに何があるか一目でわかるように、ピクトグラム表記を増やし、一部案内板を多言語(日本語・英語・中国語・韓国語)で表記し、より使いやすく、わかりやすい工夫をしています。

案内サインは令和5年3月下旬頃に設置予定です。



◀新しい案内板



**「まもるっち」を  
貸与しています**



区では、区立学校に通う全児童および私立学校等に通う区内在住で希望する児童に「児童見守りシステム用緊急通報装置」(通称「まもるっち」)を無償で貸与しています。

児童が「まもるっち」の防犯ブザー用ストラップを引くと、警報音が鳴ると同時に「まもるっちセンター」に通報され、状況に応じて生活安全サポート隊や保護者、学校、警察、地域の協力者に連絡し児童を保護します。

万一の場合は、児童の安全確保のため、付近の状況確認等にご協力をお願いします。

**83運動にご協力ください**

83運動は、「小学生の登下校時刻である午前8時と午後3時には、なるべく外の用事を行いながら子

どもを見守ろう」というスローガンのもとに品川区から始まった安心・安全のための見守り活動で、今では全国に広がっています。

登下校時刻に限らず、買い物や犬の散歩など外に出る機会があれば、子どもの様子を気にかけて、見守り活動にご協力をお願いします。



広告欄

## 第45回わんぱく相撲 品川区大会

「勇気・礼節・感謝」

**THE WANPAKU**

<主催>  
わんぱく相撲品川区大会実行委員会  
お問い合わせ先: わんぱく相撲品川区大会実行委員会事務局  
〒108-8301 品川区東品川1-1-1 TEL: 03-5637-0093  
E-mail: shimagawa.jp@gmail.com

開催概要

日程  
2023年5月14日(日)

参加資格  
品川区内在住または在学の小学生  
※参加のお申し込みは、後日、生徒に配布するチラシからお申込みください

会場  
品川区荏原平塚学園(アリーナ)

住所  
品川区平塚3-16-26

# 学校改築を推進しています

区では、学校施設の老朽化や就学人口の急増などに対応するため、計画的に学校施設の改築工事を進め、教育環境の改善に努めています。

## 鮫浜小学校の改築工事が完了

鮫浜小学校は令和元年7月に工事に着手し、同3年7月に校舎が竣工、同4年5月に全工事が完了しました。新校舎は、延床面積約6,600㎡、鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造)の地上4階、地下1階建てです。普通教室、特別支援教室、特別教室などを備え、2階に屋内運動場を、屋上にプールを配置しています。

新校舎を敷地南側にコンパクトに配置し、北側に鉄道高架下・西側敷地と一体に使える広いグラウンドを確保しました。学校のシンボルであるイチヨウのほかケヤキも保存し、学校の歴史を継承する環境教育の場となっています。



鮫浜小学校(航空写真)



鮫浜小学校(校舎北側)

## 現在、進行中の改築工事

学校・幼稚園名	工事の進捗状況等	
浜川幼稚園	令和3年8月 園舎竣工	鉄骨造3階建て
浜川小学校	令和2年8月 改築工事開始	同6年3月 校舎竣工予定
第四日野小学校	令和3年7月 改築工事開始	同7年7月 校舎竣工予定
浜川中学校	令和4年8月 改築工事開始	同8年7月 校舎竣工予定
城南第二小学校	令和5年夏頃 改築工事開始予定	同9年冬頃 校舎竣工予定

このほか、源氏前小学校では現在、改築工事に向けて基本設計を策定しています。

工事期間中は、児童・生徒、保護者、地域の皆さまにご迷惑やご不便をおかけしますが、安全に最大限配慮してまいりますので、ご理解のほどよろしくお願ひします。



城南第二小学校  
(完成予想図)



浜川中学校  
(完成予想図)



第四日野小学校  
(完成予想図)

## 児童・生徒 教育長表彰の実施

区教育委員会では、昨年度から段階的に推薦基準を変更してきました。今年度からはスポーツや文化活動の成果に加え、児童・生徒が日常からひたむきに取り組む活動にスポットを当てて表彰していきます。これにより児童・生徒の新たな一面を発見でき、また、自己有用感もこれまで以上に高まると期待しています。

表彰式は3月14日に開催する予定です。

- 推薦基準**
1. 地道な活動を継続的に行い、他の児童・生徒等の範となる個人・グループ
  2. 当該児童・生徒等が自ら学び考え行動した活動が契機となり、その効果が波及し、他の児童生徒等の具体的な行動や取組に良い影響を与えた個人・グループ
  3. 人命救助やこれに類する行為をして警察署・消防署等の公的な機関の長から表彰された個人・グループ
  4. その他、SDGsの趣旨を踏まえたボランティア活動、リサイクル活動等を積極的に継続するなど、他の児童・生徒の模範となる活動を行い、表彰に値すると認められる個人・グループ

### 推薦基準1

- 個人
- ・城南第二小 今田 椋
  - ・第一日野小 辰巳 英里紗
  - ・小山小 松崎 光
  - ・後地小 石塚 結奈
  - ・清水台小 松井 沙麗
  - ・東海中 横山 伊吹
  - ・山本 隆将
  - ・鈴木 優花
  - ・大崎中 川井 小太郎
- グループ
- ・大崎中 ミニポンプ隊
  - ・大崎中 ミニポンプ隊

マナーアップ運動あいさつ推進プロジェクト実行委員会

- ・八潮学園 児童・生徒会
- ・荏原平塚学園 放送委員会
- ・品川学園
- ・陸上部4×100mリレーチーム

### 推薦基準2

- 個人
- ・大崎中 小田島 朝香
- グループ
- ・豊葉の杜学園 前川 光介
  - ・宮前小 代表委員会

### 推薦基準4

- グループ
- ・伊藤学園 児童・生徒会

(敬称略)

## 教育長杯 各スポーツ大会の結果

例年、児童・生徒が仲間づくりを通じて身体的・精神的な健全育成を図ることを目的とし、少年少女スポーツ団体と品川区の共催事業として、教育長杯スポーツ大会を実施しています。令和4年度の結果は次のとおりです。(バスケットボールについては、3月実施のため、結果はホームページ等でお知らせします。)

### ★少年少女サッカー大会(5～6月実施)

- 優 勝：エルフシュリット品川  
準優勝：EUF C  
第三位：品川SJC



▲エルフシュリット品川

### ★小学生バレーボール新人大会(1月実施)

- 優 勝：立会アタッカーズ V・B・C 男子A  
準優勝：NEWASAMADAI V・B・C 男子A  
第三位：立会アタッカーズ V・B・C 女子A



▲立会アタッカーズV・B・C 男子A

### ★少年野球大会(4～5月実施)

- 優 勝：大井西ツインズ  
準優勝：品川オールスターズ  
第三位：EMクラブ 水神ファイターズ



▲大井西ツインズ